

令和6年度 第4回 和田東小学校運営協議会 会議録

- 1 開催日時 令和7年2月10日(月) 14時00分から15時30分まで
- 2 開催場所 和田東小学校 会議室
- 3 出席委員 渡瀬 三郎、小出 幸雄、鳥居 弘起、鈴木 佐知子、
伊藤 武司、小野田 依里
- 4 欠席委員 村松 信子
- 5 オブザーバー 中村 まゆみ(主任児童委員)、西澤 幸次郎(天竜協働センター長)
- 6 学 校 大橋 英之(校長)、中村 あづさ(教頭)
飛永 百合子(CSディレクター)
- 7 教育委員会 井島 健蔵(教育総務課)
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 飛永 百合子

10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、副会長の鳥居委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- (1) 令和6年度学校評価について(学校関係者評価)
- (2) 来年度の学校運営の基本方針
- (3) 学校運営協議会の自己評価

12 会議記録

司会から、委員総数7人中6人の出席があり過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。また、前回の会議録について説明があった。

(1) 令和6年度学校評価について(学校関係者評価)

議長の指示により、教頭から2学期学校評価アンケートについて説明があった。

次の2つの項目について皆さんの意見を伺いたい。

1 「自分のよさを発揮して、集団をよりよくしようとする」(児童の評価が低い)

子供たちの挑戦してみようとする意欲を高めながら、みんなで高め合う集団作りに努めていきたい。

2 「基本的な学習習慣を身に付ける」(教職員・保護者の評価が低い)

宿題の量、方法等、子供たちの発達段階に合わせながら、家庭学習が子供たちにとって効果的になるようにしていきたい。

委員からは以下のような発言があった。

- ・どちらの項目も児童と教職員・保護者の割合に違いがある。(鳥居委員)
- ・児童は、自分のよさをわかっているのか。友達からよいところを言ってもらえるとわかるかもしれない。(佐知子委員)
- ・親も子供のよいところを言うと印象に残るのではないか。(渡瀬委員)

- ・高めあう集団づくりに努めていくとは具体的には何をするのか。
自分としては、宿題はたくさん出してくれたほうがありがたい。保護者に、家庭学習の取り組み方を伝えるのが効果的ではないか。(伊藤委員)
- ・設問が抽象的ではないか。(鳥居委員)
- ・自分の子は5年4年2年だが、自分のよさはわかっていないと思う。
宿題も見えていない。忘れた時も自分でどうするか考えさせたい。(小野田委員)
- ・自立を促すということですね。どうせ僕はということではなく、自信をつけさせたい。(鳥居委員)
- ・この質問は答えるのに難しい。あなたのよい所はここだと言ってあげることがいいと思う。
(小出委員)
- ・登校時に宿題はやってあるか聞くと、タブレットで済ませたという子も多い。(渡瀬委員)
- ・タブレットで済ませるものもあるが、紙に書くもののほうが多い。(教頭)
- ・「意欲を高める活動」については、行事や授業の中でも単発で終わるのではなく、前からのつながりを考えている。学年に応じて自分たちで考えることを意識しているので、わくわく発表会の内容も、学年が上がると自分たちでできることが多くなっていく。(校長)

(2) 来年度の基本方針

議長の指示により、校長から来年度の基本方針について資料に基づき説明があった。

まだ案であり、少し変わるところも出てくる。子供たちがやってみたいと思える気持ちを大切に、教育活動を進めていく。承認いただくのは新年度になる。

委員からは以下のような発言があった。

- ・にこにこ、ぴんぴんは子供たちにもよく通じる。(渡瀬委員)
- ・ICTの有効活用とはどのようなことか。(鳥居委員)
- ・タブレットはノート・鉛筆と同じ。より有効的な活用を研修している。(校長)
- ・タブレットでやった宿題は先生が見られるのか。(渡瀬委員)
- ・子供がやったものは、先生に送られてくるので見られる。(教頭)
- ・天竜中学校区の目指す児童生徒像が変わると本校も変わるのか。(伊藤委員)
- ・今、調整中であるが、大きく変わることはないと思う。(校長)

(3) 学校運営協議会自己評価

評価項目1 学校基本方針について熟議することができたか

評価項目2 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか

評価項目3 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか

評価項目4 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

司会より、村松会長が委員の意見をまとめた「学校運営協議会自己評価表」について説明があった。

- ・学校運営委員会の様子を学校だよりやホームページで紹介した。ホームページでは会議録も見られるようになっている。(教頭)
- ・教育委員会の方に、ねらいなどをお話ししていただけるとありがたい。(鳥居委員)
- ・今年度できたこと、できなかったことを振り返り、来年度よりよく活動するためにしていた

だくものになっている。(教育総務課 井島)

- ・コーディネーターの研修会で、子供が「ありがとう」と言うようなことをしてください、とのことだった。子供に関心を持って接することが大切。(渡瀬委員)
- ・来年度の取り組みの重点として、村松会長は、「職員と学校運営協議会委員、地域の方が一緒に話をする場があるといい」とのことだった。いかがか。(鳥居委員)
- ・その場をつくるということに賛成(伊藤委員)
- ・にこびん池も維持していきたい。上空から写真を撮って知らせたい。修復した本も写真で紹介するといい。(小出委員)
- ・そのような場を設けることを来年度の重点に入れる。(鳥居委員)

13 連 絡

教頭から、夢育やらまいかCS加算分6万円は、ボランティアの方へのお茶、花の苗、畑の土などに活用した旨の報告があった。

その他報告事項等

司会から、来年度の会議は、令和7年4月23日(木)に開催する旨の連絡があった。